

・休業4日未満

**20169M** 技能補佐員(男性:70歳);ケージの運搬中、ドア枠に躓いて転倒し、頭部を柱にぶつけた。(休業2日)

・不休業事故・災害

**19312F** 研究員等(女性:57歳);掃除中、滑って転倒し手首捻挫等を負った。

**20163F** 学部学生3年(女性:21歳);シリンジと針を用いてラット背部にラット由来抗DNP抗体を皮内投与する作業を行っていたところ、誤って左手人差し指を刺傷した。

**20164F** 運転士(男性:43歳);自動運転バス実実験時に後方より車両に追突された。

**20166F** M1院生(女性:23歳);機械の刃をティッシュで拭いた際に、指先を切った。

**20173F** 教員(女性:29歳);手洗い場を通過中滑って転倒、頭部打撲等を負った。

・通勤災害

**20159J** 事務・図書系職員(女性:51歳);通勤時、濡れた落ち葉に滑り、転倒し壁で頭部を打った。

**20171J** 助教(女性:44歳);自転車帰宅途中、道路の段差に躓き、負傷した。

**20174J** 事務補佐員(女性:56歳);帰宅中にマンホール蓋の周りの膨らみに躓き転倒し、肘の骨折および上唇外部と口内に裂傷を負った。

・その他

**20172S** 医療・看護系職員(女性:23歳);職場で仮眠後、支度中に失神、左側頭部打撲を負った。

人的被害なし、設備災害でない小火あり

**20165Nf** 定温恒温器中で昇温中の木材が燻り発煙した。

**20170Nf** クエン酸キレート法を用いて組成BaZr<sub>0.8</sub>Co<sub>0.2</sub>O<sub>3</sub>で表される酸化物試料の合成を行っていた。原料試薬として硝酸バリウム、硝酸酸化ジルコニウム二水和物、硝酸コバルト六水和物、クエン酸および純水を用いていた。ドラフト内、ビーカー中で錯体形成を行った後水分を除去し、そのうちの約20gの試料を用いて、午後1時頃から電气管状炉において空気雰囲気下(Air:100mL/min)で、1100℃までの昇温・熱処理による酸化物の合成および有機物成分の除去を行っていた。午後3時頃、550℃~600℃付近の温度域において電气管状炉の内圧が急激に上昇し、電气管状炉の片側のO-ringで固定された金属製の蓋が脱離し、白煙が噴出した。

人的被害なし、設備災害でない機器・施設損傷あり

**20167Nd** 水道管と動物飼育設備の給水管とをつなぐ減圧装置内部の減圧弁が損傷し、適切な減圧が行えなくなった。これに伴い、飼育設備内の給水用チューブ先端が水圧に耐えられず漏水し、飼育設備床へ至った。

人的被害なし、設備災害でない有害物(臭)流出あり

**20160Ni** 実験排水系に低pH排水の流入が感知された。

**20168Ni** ICP-MSにアンモニアガスを導入する際に、レギュレータの2次バルブが締まっていることを確認してからガスボンベのバルブをゆっくり開け、レギュレータの圧力を適正な値に調整した後、2次バルブを開けたところ、アンモニアセンサーの警告音が鳴った。確認のため、センサーに近づくと、アンモニア臭がしたためレギュレータの2次バルブ及びガスボンベのバルブを閉めて実験室から避難した。